

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	健康の森学園支援学校			所在地	新見市哲多町大野2034-5		
敷地面積	64,137.00 m ²			棟数	20 棟 (計画記載対象 10 棟)		
延床面積	6,490.04 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	特別支援学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 4		津波 -		浸水 -			
建築規制	都市計画区域外						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気 191,732 kWh	ガス 5,158 m ³	水道 - m ³	燃料(灯油) 22,650 0			
管理上の 特記事項	福祉避難所 健康の森学園と同一敷地内に整備された施設						

1 施設内建物の概況

名称	研修棟(1棟)1	訓練舎(16棟)11	作業棟(2棟)2
築年(西暦)	1991年	1996年	1991年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	1,242.20 m ²	249.75 m ²	749.42 m ²
延床面積	1,309.80 m ²	249.75 m ²	1,234.01 m ²
主要な用途 (室名等)	相談室 職員研修室 保健室	農産加工室 職場適正検査室 職場実習訓練室	多目的作業室 粘土陶芸室 音楽教室
主要な設備 (屋外を含む)			電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	基礎訓練棟(北棟)(3棟)3	基礎訓練棟(南棟)(4棟)5	宿泊交流棟(5棟)7
築年(西暦)	1991年	1991年	1991年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	木造 1階
建築面積	409.39 m ²	596.21 m ²	231.99 m ²
延床面積	409.39 m ²	596.21 m ²	231.99 m ²
主要な用途 (室名等)	基礎訓練室	基礎訓練室	和室 交歓ホール
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ			
長期使用の適否	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	運動機能訓練棟(9棟)8	養護寮舎(高等部)(17棟)10	養護寮舎(北棟)(7棟)4
築年(西暦)	1991年	1996年	1991年
構造	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	693.20 m ²	294.50 m ²	541.50 m ²
延床面積	693.20 m ²	520.75 m ²	541.50 m ²
主要な用途 (室名等)	アリーナ	寄宿舎	寄宿舎
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	高	低	低
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	養護寮舎(南棟)(8棟)6		
築年(西暦)	1991 年		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階		
建築面積	538.91 m ²		
延床面積	538.91 m ²		
主要な用途 (室名等)	寄宿舎		
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	低		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
研修棟(1棟)1	予防保全を図る。
訓練舎(16棟)11	予防保全を図る。
作業棟(2棟)2	設備等の定期更新を行う。
基礎訓練棟(北棟)(3棟)3	予防保全を図る。
基礎訓練棟(南棟)(4棟)5	設備等の定期更新を行う。
宿泊交流棟(5棟)7	予防保全を図る。
運動機能訓練棟(9棟)8	予防保全を図る。
養護寮舎(高等部)(17棟)10	予防保全を図る。
養護寮舎(北棟)(7棟)4	予防保全を図る。
養護寮舎(南棟)(8棟)6	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
研修棟(1棟)1	予防保全			予防保全を図る。							
訓練舎(16棟)11	予防保全			予防保全を図る。							
作業棟(2棟)2	設備等の定期更新							トイレ改修			
基礎訓練棟(北棟)(3棟)3	予防保全			予防保全を図る。							
基礎訓練棟(南棟)(4棟)5	設備等の定期更新							トイレ改修			
宿泊交流棟(5棟)7	予防保全			予防保全を図る。							
運動機能訓練棟(9棟)8	予防保全			予防保全を図る。							
養護寮舎(高等部)(17棟)10	予防保全			予防保全を図る。							
養護寮舎(北棟)(7棟)4	予防保全			予防保全を図る。							
養護寮舎(南棟)(8棟)6	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R6.3	作業棟(2棟)及び基礎訓練棟(南棟)(4棟)において、設備等の定期更新を追加